

さんさんバスキャッシュレス決済（QRコード）の導入について

1 導入目的

令和2年度に実施した電子マネー決済の試行結果（右側参照）を踏まえ、新たな選択肢としてQRコードを用いたキャッシュレス決済を導入し、非接触によるスムーズな運賃支払いを行う。

2 導入理由

- (1) バスに決済用の端末を設置する必要がなく、乗客がスマートフォンで読み込んで支払うため決済時間が短くて済み、運転手は支払画面の確認のみで負担が少ない。
- (2) 試行時は運賃100円の支払いのみであったが、QRコード決済では回数券の購入も可能となる。（回数券綴りの購入用に1,000円に設定したQRコードを用意）
- (3) お釣りの受け渡しなどで直接現金をやり取りすることがないため、新型コロナウイルス感染症の感染予防にもつながる。

3 対応QRコード

PayPay

4 実施時期

令和3年7月から

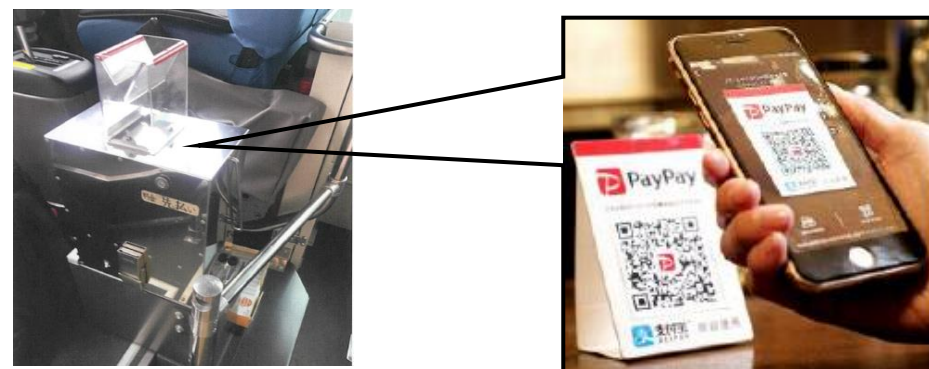
5 対象路線

全路線（くろまつくん・さつきちゃん）

6 利用方法

運賃箱付近にQRコード（100円に設定）を設置し、乗車時にスマートフォンで読み取って運賃を支払い、運転手が支払画面を確認する。

※ 決済により生じる手数料は、市が負担する。



(導入イメージ)

<さんさんバス電子マネー決済の試行結果について>

1 実施時期

令和2年9月から令和3年2月まで（6か月間）

2 対象路線

交流路線（くろまつくん） 3台

3 対応電子マネー（4種類）

iD、nanaco、楽天Edy、WAON

4 利用者数

くろまつくん3台の合計

単位（人）

月	① iD	② nanaco	③ 楽天Edy	④ WAON	4種類合計	利用者数 (くろまつくん)
令和2年 9月	11	24	10	44	89	9,984
〃 10月	8	11	7	21	47	11,087
〃 11月	4	10	5	26	45	10,273
〃 12月	12	15	2	23	52	10,125
令和3年 1月	7	12	3	14	36	8,850
〃 2月	8	6	4	8	26	8,949
合計	50	78	31	136	295	59,268
比率	17.0%	26.4%	10.5%	46.1%	100.0%	

利用者数(59,268人)に占める電子マネー決済の延べ利用者(295人)割合 ⇒

0.50%

5 効果及び課題

運賃支払い時の選択肢を増やし、非接触による支払い方法の導入を試みた。しかし、運賃支払い時に運転手が端末操作を行う必要があり、決済に時間がかかっていた。また、延べ利用者の割合も少なく、伸び悩んでいる状況であった。

6 結論

以上のことから、試行実施した電子マネー決済の導入は見送ることとする。

なお、端末の改良が行われ、決済に時間がかからなくなり、運転手の負担が軽減されるなどの課題が解消された際には、改めて導入の検討を行う。